

ゴルフ振興

世界の主流は、 女性と健康と プレー環境整備

新型コロナウイルス禍の中で、日本だけでなく海外でもゴルフの素晴らしさが再認識されています。注目されているのは、社会行動が制約される中で、ゴルフがソーシャルディスタンスを確保できるスポーツという点だけでなく、プレーを通じてコミュニケーションがとれることや健康とメンタルヘルス効果も期待されるからです。

このゴルフの持つ機能は、新型コロナウイルス感染症の拡大で注目されたわけではなく、数年前からR&Aや米国ゴルフ業界はここにフォーカスして、ゴルフ振興活動を始めています。もちろん、参加人口減少対策という側面があります。

ポストコロナを考えれば、日本のゴルフ業界がとるべき活動は、R&AやUSGAなどと同じ、ゴルフ振興対策の一言に象徴されることになるはずです。そこで、グローバルな視点からのゴルフ振興を期待し、海外の主要ゴルフ団体の活動をまとめて紹介することになりました。

R&Aが変えるゴルフ振興の潮流

世界の主要ゴルフ団体を挙げる

とR&AとUSGAとなりますが、R&Aは活動内容を大きく変えてきており、米国はUSGAを中核に新しい業界団体We Are Golfを組織して、共にこれまでのルール、競技主体の活動からゴルフの将来設計といってもよい業界活動に力を入れてきています。

まずR&Aですが、古くはThe Royal and Ancient Golf Club of St AndrewsがR&Aでしたが、2004年に会社組織のThe R&Aが新たに組織されました。現在のR&Aは、ホームページを見ていただけると分かりますが、所在地こそオールドコースに隣接するビーチハウスですが、ジ・オープンなどゲームを所管するR&A Champions R&A Rules Limited' として様々なサービスを提供するR&A Group Services Limitedがグループ企業として設立されています。是非ともR&Aのホームページ
(<https://www.randa.org/>) を訪問してみてください。

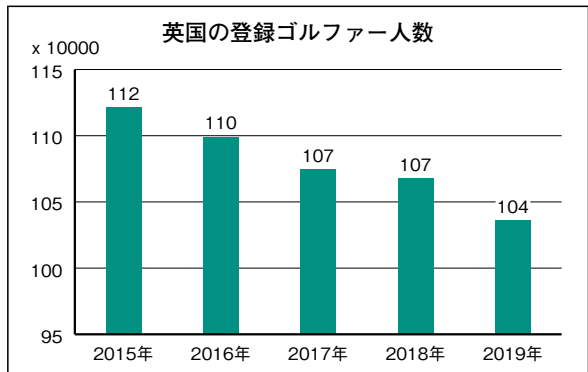


R&Aの新しいロゴマーク
皆さん、R&Aのロゴが変わっているのをご存知ですか？

新組織は、全英オープンから得られる収入を世界のゴルフ振興（開発）に投資して、新興ゴルフ国の支援だけでなく、例えば女性のゴルフ参加支援などでは、すべての国（ゴルフ団体）をサポートするとしています。また、2017年に横浜CCで開催されたR&Aサステイナビリティセミナーに参加された関係者も多いと思いますが、新しい取り組みの一つが、サステイナブルゴルフの普及・振興活動で、セミナーはこの一環として行われたわけです。サステイナブルゴルフは、ゴルフ場運営や管理を通じて環境的に持続可能なゴルフ環境を整備しようという取り組みで、日本（政府）が進めるカーボンオフセットの取り組みを含めたSDGs（持続可能な開発目標）の実践を、ゴルフから取り組もうという活動でもあるわけです。

低迷する英国のゴルフ市場

ところで、R&Aは世界のゴルフ業界をリードする組織の一つです。USGAが統治する米国とメキシコ以外の世界各国を統治しています。足元の英国のゴルフ業界を統治するのはイングランド、ス



コットランド、ウェールズ、アイルランドの4ゴルフ協会です。そこで、英国のゴルフ市場の現状を紹介します。最新のマーケットレポートである「European Golf Participation Report 2019」のデータからは、低迷する英国ゴルフマーケットの姿が見えてきます。日本のような利用者数のデータはありませんが、クラブメンバーを含め登録メンバーの人数がまとめられています。2015年以降の登録メンバー数をグラフにしました。2015年の112万13

71人から年々減少し、2019年は103万6128人と、4年間で8万5243人、7・6%減少しています。英国は、日本ほどではありませんが、やはり人口の高齢化がいわれており、ゴルフ業界は、登録メンバー数の推移に表れているように、低迷が続いています。こうした市場の動きに、4カ国のゴルフ協会は新規ゴルファーの創出に力を入れており、R&Aの活動に先行する形で「Get Into Golf」という新しいゴルファーを育てようという活動を進めています。

最新の情報では、新型コロナウイルスの感染拡大の中で、家族や親しい友人と時間が共有できるスポーツ、ゴルフへの関心の高まりから、多くのクラブで新規入会者が増えていくという報道が伝えられており、倶楽部活性化への期待が持たれるところです。

この新生R&Aの積極的なゴルフ振興活動は、毎年出されている様々なレポートに見ることができません。

最新のレポートは、女性の新規ゴルファー創造を目的にスタートした#OREveryoneという活動の提案です。R&Aにはマーケティ



ング部門が設けられていますが、まさにゴルフ業界のマーケティング活動が始まっています。

もちろんルールなど競技関係のレポートは毎年発表されていますが、世界のゴルフ開発という点で次に紹介するのは、世界のゴルフ事情をまとめた「Golf Around the World」で、2015年に初めて発表された後、2017年、201



9年と隔年で世界のゴルフ環境をまとめています。世界規模の調査を始めた背景には、さらにゴルフの普及を進めたいR&Aの世界のゴルフ情勢の把握があり、今後期待される新しいゴルフマーケットの調査が主目的ですが、同時に、主要ゴルフ国で共通する高齢化とゴルフ人口の減少傾向も明確になってきています。2004年に新しいR&Aが設立されて、具体的な世界戦略が見えてくるのが2010年代前半ですから、10年近くかけて戦略が検討されてきたようです。

R&Aのゴルフ振興活動で気づく点は、ゴルフ競技そのものの普及だけでなく、ゴルフをすることの様々なメリットや社会貢献機能の啓発活動に力点を置いていることです。新型コロナウイルスのパンデミックで「死」や「健康」が最大の関心事になっていますが、世界のゴルフ業界はこれ以前から、ゴルフの健康への効果に注目してきています。詳しくは改めて紹介したいと思いますが、2009年にスウェーデンで、ゴルフ協会が協力してゴルファーは5年長生きしているという報告がされていま



す。論文をまとめたのは、スウェーデンの環境医学研究所とカロリンスカ研究所です。

R&Aは、2020年に最新の報告「Golf and health Report 2020」を発表しました。ゴルフと健康に関する活動については2016年に始まっています。健康がテーマに挙げられているのは、特に先進国で進む人口の高齢化が理由の一つにあります。高齢化は同時に健康ニーズへの対応が求められています。R&Aは、エジンバラ大学との共同でゴルフの健康効果についてのエビデンスをまとめるなど、健康をテーマにしたゴルフの普及活動に力を入れてきています。

性別問題、ジェンダーについても積極的に取り組んでいます。参加率が男性層に比べて低い点は世界共通の現象です。女性のゴルフ振興を積極的に支援することでゴルフ人口の増加につなげようと

いうわけです。しかし、ゴルフを始めましょう！と訴えるだけでなく、女性のゴルフ進出を妨げる障壁を業界から積極的に取り除こうと動きました。

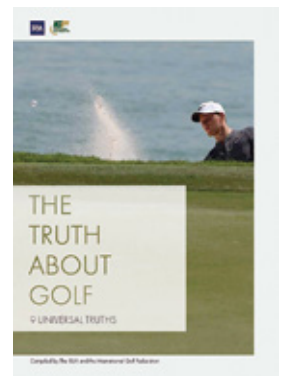
2018年に、女性ゴルフ憲章「Women in Golf Charter」を発表しました。宣言は、女性ゴルファーを増やすだけでなく、ゴルフ産業への女性の進出をも支援しようという提案しています。この女性憲章には、JGAも賛同して、参加をしています。女性憲章が発表された2018年には「Women's Participation in Golf Research」が出されました。この調査は、女性と女子と家族をテーマにしたレポートとしてまとめられています。日本でも女性ゴルファーの増加は大きなテーマです。このレポートは、事例を多くまとめてあり、日本の関係者にも目を通していただきたいレポートです。#FOREeveryoneは



女性ゴルファー開拓の最新プログラムということですが、

他にもいろいろな取り組みを行っています。R&Aのゴルフ振興に取り組む姿勢を明確に表しているのが「The Truth About Golf (ゴルフの真実)」と題したレポートです。自身は、R&Aがゴルフ新興で実現したいビジョンであり、大きく分けると経済効果、健康と幸福、ゴルフの持つガバナンスにポイントを置いているのがよく分かります。

R&Aの取り組みとしては是非とも紹介したいのはコース管理に関する「ジョンをまとめた「Golf Course 2030」です。2019年にR&A Championships Limitedから発行されています。ここでは気候変動に対応するSDGsをベースにしたコース管理の提案がされています。また複数年にわたる管理プロセスの進め方なども提案されてお





り、持続可能なコース管理という視点が明確に示されています。日本でも欲しい取り組みです。

イングランドゴルフ協会の取り組み

ここで、イングランドゴルフ協会の取り組みも少し紹介します。R&Aの活動と共同して動いていることがよく分かります。

イングランドゴルフ協会としての成長戦略をまとめたのが「Growing The Game of Golf in England」です。ビジョンは2017〜2021年の期間を対象に作成され、発表されたのは2017年です。そろそろ次のビジョン作成作業に



入ることと想像されます。

内容は、イングランドのゴルフ人口やクラブ数、経済効果などの現状をまとめた上で、今後、どこにフォーカスして活動していくかをまとめています。フォーカスするのはゴルフを始めようとしている新規ゴルファーです。もちろん新規ゴルファーの対象に女性と女子の増加を成長戦略にしています。

市場戦略には、ゴルフクラブの課題も整理してまとめています。クラブ運営の在り方をまとめたのが「A Governance Guide For Golf Clubs」です。日本のクラブ運営にも参考になると思います。

マーケティング活動で先行する米国の動き

米国は、2000年にGOLF 20/20というゴルフ振興構想を発表しました。この活動を引き継いだのが2009年に設立されたWe Are Golf (WAG)という新しい組織です。アメリカクラブマネージャ協会 (CMAA)、アメリカゴルフコース管理者協会 (GCSAA)、全米ゴルフコースオーナー協会 (NGCOA)、LPGA、PGAツアー、アメリカPGA

A、USGA、米国ゴルフメーカー協議会、世界ゴルフ財団 (WGF) といった主要ゴルフ組織の連合組織で、現在は43の団体、企業がパートナーとして名を連ねています。

WAGは、ゴルフの経済、健康、環境のそれぞれの社会効果を、一般社会や議会に周知することを活動の柱にしています。そして、この中心的な活動の一つとして、毎年のナショナルゴルフデーにワシントンDCで開催するイベントなどでのロビー活動の展開があります。彼らは、「ゴルフ業界は、経済面では年間840億ドルの経済効果と200万人の雇用を提供しているにもかかわらず、議会関係者の誤解があまりにも多い」と、ゴルフは健康を増進し、業界は環境と調和するゴルフ開発に取り組んでいる」などを議会関係者に訴えています。ゴルフ場などの中小企業の減税も活動テーマになっています。新型コロナウイルス対策として全米で実施しているゴルフを再開するためのキャンペーン「BACK2GOLF」をリードしたのもWAGです。

このようにゴルフ振興の全体構

想とプランをまとめる機関としてWAGが機能しています。

具体的な活動としては、第一にはゴルフ人口の拡大に各団体がそれぞれに取り組んでいます。他の団体の活動を支援することにも取り組んでおり、例えば、LPGAが始めた女子ジュニアの育成プログラム「Girls Golf」をUSGAがサポートしています。新規ゴルファー育成の場としてゴルフ場が果たす役割は大きく、USGAのサポートは必要不可欠な関与と言えます。日本でもJGAの積極的な関与が望まれ、ゴルフ場の積極的な支援なくしては、ゴルフ振興は実現しないでしょう。

ガールズゴルフについてはホームページ (https://www.girlsgolf.org) でご確認いただくと、エピソードが紹介されています。LPGAのティーチングプロのサソディ・ラポーブさんが2人の娘さんにゴルフを教えることで始まった地元のガールスカウトの女の子を対象にしたクリニックがGirls Golfにつながったそうです。今では全米だけでなく世界に広がっており、日本でも活動しています。USGAが取り組んでいる主な



ゴルフ振興対策としては、

- ・PLAY9
 - ・DRIVE, CHIP AND PUTT
 - ・THE FIRST TEE
 - ・LPGA/USGA GIRLS GOLF
 - ・ADAPTIVE GOLF
- があります。

USGA が新規ゴルフファア開拓で力を入れているのがプレー9です。ゴルフを始めようとする人の60%が9ホールでのプレーを望んでいるという調査結果があり、忙しい中でもプレーが可能で、家族と楽しめ、1000kcalを消費でき、費用も安いと9つのメリットを紹介し、その中でハンディキャップが取得できることもメリットの一つに挙げています。

9ホールプレーは初心者者のゴルフへのアプローチとして多くのメリットがありますが、高齢化が進む中で、プレーニーズの強いシニア層にさらに長いゴルフライフを

楽しんでもらうためにも有効です。

ジュニアを対象にしたプログラムが **DRIVE, CHIP AND PUTT** です。このプログラムは、子供たちのドライバースhootとチップショットとパッティングを点数で評価して技術（得点）を競うというものです。7歳から15歳の男女の子供たちに提供されるPGAと共同の無料スキルコンペティションです。2020年は開催が見送られました。2020年は開催が見送られましたが、毎年5月から7月に各地で予選が実施され、80人のファイナリストが、翌年のマスターズ前日にオーガスタナショナルゴルフクラブで開催されるナショナルファイナルに参加するという嬉しいプログラムです。こちらのページ (<https://www.drivechipandputt.com/>) からビデオ等で確認ください。

THE FIRST TEEは、ご存知のように人間教育的要素を組み込んだプログラムで、日本でも活動が行われています。ADAPTIVE GOLFは身体者のゴルフをサポートするプログラムです。

他の団体の活性化活動としては、PGAは、ジュニアリーグを全米で展開しています。この活動に触

発されて日本PGAでも同じジュニアリーグをスタートしています。

日本の取り組みについて、日本ゴルフ協会は「ジュニアリーグは、ゴルフは個人競技であるがために孤独になりがちで、これが起因しゴルフ離れに繋がるケースも少なくありません。そこでジュニア世代にもっとゴルフを楽しんでもらうためにジュニアリーグを国内で展開することを決定しました。

この取り組みは、13歳以下の男女を対象に、楽しく社会的で開放的な環境の下でゴルフを学び、楽しむ為に考えられたシステムで、団体の中で行動を共にし、チームで勝利する」という同じ目標に向うことができます。

時には喜び合い、時には悲しみ、感情を共有することで友情も生まれます。これにより子供同士のコミュニティも生まれてきます。競技方法はスクランブルフォーマットを利用した団体戦。団体戦は個人に精神的な過度な負担をかけることが少ないのが特徴です」と魅力を説明しています。

世界最大のゴルフ市場である米国自体がマーケティング先進国でもあることから、マーケティング



活動には従来から力を入れてきています。その象徴的な活動を持っているのがNGF (National Golf Foundation、米国ゴルフ財団)です。米国のゴルフマーケットに関する「数字」はほとんどがNGFでまとめられています。

NGFは、全国規模のアンケート調査を中心に、ゴルフ人口や利用動向、消費傾向を数値で現状を分かりやすく分析して、対策の提案や将来の展望を示しています。

NGFは1936年に設立されたゴルフマーケットに特化した非営利団体で、ゴルフマーケティングの指導的機関です。日本は、ゴルフ場利用税という制度があるがために正確な利用者数が把握できていますが、ゴルフ人口については、レジャー白書や社会生活基本調査、最近ではスポーツ庁の調査などでそれぞれに違った人口（参

英米のゴルフ業界の活動を紹介してきましたが、R & Aのレポートからゴルフ場数(18ホール換算)で世界のトップ5をまとめると、最大の市場は米国(1万6752)で、英国は4ゴルフ協会合計で3564ですから2位、3位は日本(3169)、4位はカナダ(2633)、5位はオーストラリア(1616)になります。日本以外の国は、毎年ではないにしても、ゴルフ市場規模をまとめたレポートを発表し、将来ビジョンを作成して提案しています。NGFが協力する形でドイツ、フランス、イタ

他のゴルフ主要先進国の動

加率)が存在し、業界としての見解を持てていません。ゴルフ振興を進める上で、目標数値を定めることは最低要件だと思いますが、それすら難しいという現実を抱えています。そろそろ業界として見解をまとめてはどうか。国勢調査のような全数調査ではないのですから、あくまでも比較のための数値です。ここはエイ！と決めるだけだと思いますが、どうでしょう。



リアも簡単ですがレポートを発表しています。例えば、カナダはゴルフ場施設をまとめた「Golf Facilities in Canada 2017」やゴルフ白書ともいえる「CANADIAN GOLF CONSUMER BEHAVIOUR STUDY」を作成、2019〜22年を対象期間とした市場戦略「The Future For Golf in Canada」を発表しています。戦略を取りまとめたのはゴルフ・カナダというWAGのような主要ゴルフ団体が構成する団体です。オーストラリアは、ゴルフ・オーストラリアというやはり主要ゴルフ団体が集まった組織から、「2019 Golf Club Participation report of Australia」(46頁)を出しています。レポートによるとオーストラリアでも年々参加率が低下しています。参加率やメンバー数のレポートは、2017年以降毎年まとめられており、ゴルフ振興策を立てるため



の資料として作成しています。まとめた対策が「Vision 2025: The future of women and girls in golf」で、R & Aと同じように中長期ビジョンとして女性と女子でのゴルフ人口拡大を主要な活動と位置付けています。主要なゴルフ団体の活動内容から見えてくるのは、先進国が抱える課題は、ゴルフ人口の減少であり、高齢化の進行という現実です。状況が似ていることから対策も似てきています。対策は、女性層の拡大であり、プレーしやすい環境の整備です。そしてゴルフを通じて健康の維持、増進を重要なテーマとして活性化策に積極的に取り込もうとしています。新型コロナウイルスのパンデミックは、ゴルフの本来のメリットに気づかせてくれたようです。今こそゴルフの普及に全力を注ぐチャンスです。

「喜田任紀」

Golf Course Accessories
STRONG
デュラフレックスピット入りドロップエリア
バンカーレーキトーンメント用
吸水型排水ローラー

ゴルフ場においてのお客様の誘導や管理作業に最適なアイテムを紹介します。新ルールに対応したピット(絵)を使用し、より視認性が向上したドロップエリア、バンカーをならすことで美しい波紋に仕上がるバンカーレーキ、グリーン上の排水作業が効率的に行える排水ローラーを是非ご利用ください。



375-AY-1
デュラフレックスピット入りドロップエリア
265×140×12t mm 成型樹脂製
110mmステンレススパイク足2本
定価: 5,880円
新ルールに対応したピット(絵)にした。黄色ベースの黒文字で視認性に優れています。



569 バンカーレーキトーンメント用
ヘッド:380mm 樹脂製
柄:1370mm アルミ製
定価: 3,700円
美しい起伏の大きな波紋ができるので、トーンメント仕様のコースに最適です。



23B 吸水型排水ローラー
ローラー部:90Φ×900mm
スポンジ製
柄部:1420mm アルミ製
重さ:2800g
定価: 22,130円
ローラー部がスポンジのため、吸水しながら排水が可能です。

※定価はいずれも本体価格です。

TEL.072(858)5155(代) FAX.072(858)6001
〒573-0112 大阪府枚方市尊延寺2丁目26-2 ホームページ <http://www.strong-golf.jp> **ストロング商事株式会社**